

横須賀・三浦

50号特集 ■ 各地域協議会のあゆみ

指導員活動を振り返って

横須賀三浦地域青少年指導員連絡協議会は、横須賀市、鎌倉市、逗子市、三浦市、葉山町の4市1町の青少年指導員連絡協議会（横須賀市は青少年育成推進員連絡協議会）で構成されています。各協議会の会長・副会長のみなさまの出席をいただき、イベントをはじめとした各種事業等の情報交換の場として会合を重ねています。

長年にわたって青少年指導員の活動に尽力されてきたみなさんに、思い出を語っていただきましたので紹介します。

横須賀市青少年育成推進員連絡協議会

会長 芦澤雄一

市内の160人の青少年指導員の仲間と、様々なイベントや通学見守り、パトロールなどの日常活動を通じて、多くの青少年と知り合ってきました。継続的に長期に関わる学校や家庭と連携しながら、地域からの違う目で包み込んできたつもりです。私たちが教えてもらったことも多々ありますが、青少年一人ひとりが成長してゆく過程で、その心の中に素晴らしい体験や経験として残ってくれるような活動であったことを願っています。

三浦市青少年指導員連絡協議会

会長 出口正雄

三浦市の青少年指導員は60名です。愛のパトロール、うどんまつり、環境を考えるつどい等とさまざまな行事を行っています。思い出に残っているのは、子ども会と共同で行ううどんまつりです。子どもたちに、自分で作り上げる作業の責任感を持ってもらえたのではないかと思います。また、指導員が持ち寄った物品を市民まつりで販売し、活動の財源にするなど、自分たちの事は自分たちでやるという意識改革もできました。

鎌倉市青少年指導員連絡協議会

会長 武井正雄

鎌倉市の主要事業は、三本柱の①子どもキャンプ②子どもたこあげ大会③中学生作文コンクールに全力を傾注し、その他研修会を開催しております。

また、5地区別に地域団体と連携して多彩な活動を展開しています。

私の思い出として、一番刺激のある行事は子どもキャンプです。住処小屋（すみかごや）作りで竹を山の上に運ぶ労作業、そして、雨で中止となったキャンプファイヤーの後始末の作業を、翌日水浸しの中で行ったことは、大変だったけれど忘れられません。

葉山町青少年指導員連絡協議会

会長 原田敦子

葉山町の青少年指導員は定員20名です。町内の行事への協力依頼も多く、少人数のため、やりくりしながら活動しています。

子どもたちの成長をより身近に感じられるのは小さい町の利点ですが、後継者を見つけるのには苦労もあります。地域の子どもたちとふれあい、たくさんの笑顔をもらうことで私たち指導員も気持ちを新たに、子どもたちを明るい未来に送り出すために活動することができます。

逗子市青少年指導員連絡協議会

前会長 角田 進

逗子市で青少年指導員を20年余り続けています。一番の思い出は、逗子市青少年指導員連絡協議会が、1996年から毎年「中高生ディベート大会」を開催し、普及しているということで、2005年に愛知県の愛・地球博会場での全国教室ディベート連盟全国大会決勝戦終了後、「ディベート教育功労賞」団体の部として表彰を受けたことです。

その「ずし中高生ディベート大会」も今年で第18回となりました。



青少年指導員活動研究会の様子